



インドの最高級ホテルで起きた無差別テロからの、奇跡の脱出劇。

ホテル・ムンバイ

HOTEL MUMBAI

監督・脚本: アンソニー・マラス

出演: デヴ・パテル『LION/ライオン〜25年目のたぐいま〜』、アーミー・ハマー『君の名前で僕を呼んで』、ナザニン・ボニアディ『HOMELAND』、アナハム・カー『世界にひとつのプレイブック』、ジェイソン・アイザックス『ハリー・ポッター』シリーズ

提供: ギャガ、読売新聞社 配給: ギャガ GAGA★

BLEACHER STREET AND SHIVHANS PICTURES PRESENT IN ASSOCIATION WITH SCREEN AUSTRALIA AND KETTEREST ENTERTAINMENT GROUP PRESENT AN ANTHONY MARAS FILM IN ASSOCIATION WITH SOUTH AUSTRALIAN FILM CORPORATION ABLICHTI FILMS INTERNATIONAL ADELAIDE FILM FESTIVAL DOUBLE GUESS SCREENVEST AND LOTTERYWEST A HAMILTON ENTERTAINMENT THUNDER ROAD FILMS AND ELECTRIC PICTURES PRODUCTION DEV PATEL ARMIE HAMMER NAZANIN BONADI TILDA COBHAM HERVEY WITH ANUPAM KHEER AND JASON ISAACS "HOTEL MUMBAI" INSPIRED BY THE DOCUMENTARY "SHOWING MUMBAI" CASTING DIRECTORS ANU RAY & LEIGH PICKFORD TRISHAAN SARKAR CSA (INDIA) SOUND DESIGNER SAM PETTY VFX SUPERVISOR MARTY PEPPER MUSIC SUPERVISOR LAURA KATZ MUSIC SERVICES PROVIDED BY CUTTING EDGE EDITOR PETER MCNEELY ANTHONY MARAS MUSIC BY VOLKER BERTELMEANN (HAUSCHKA) COSTUME DESIGNER ANNA BORSCHER PRODUCTION DESIGNER STEVEN JONES CHANS WANG DIRECTOR OF PHOTOGRAPHY NICK REAY MATTHEWS ACS (D) PRODUCERS BARBARA GIBBS BRIAN HAYES LINE PRODUCER INDRA PRAGESH SAINI EXECUTIVE PRODUCERS KENT KIBENA JONATHAN FUHRMAN RYAN HAMILTON YING YE MARK MONTGOMERY NATALIA PUCHINSKAYA DEV PATEL JOHN COLLEE JOSEPH R. COHEN GARY ELLIS PRODUCED BY BASHI (HANYK) P.G.A. GARY HAMILTON KIM CARRAWAY P.G.A. JULIE RYAN P.G.A. ANDREW USIGONE JONATHAN THOMAS P.G.A. WRITTEN BY JOHN COLLEE & ANTHONY MARAS DIRECTED BY ANTHONY MARAS

R15+

© 2019 HOTEL MUMBAI PVT. LTD. SCREEN AUSTRALIA, SOUTH AUSTRALIAN FILM CORPORATION. PRODUCTION FESTIVAL AND DEVELOPMENT INC. gaga.ne.jp/hotelmumbai

『ボーダーライン』製作陣が放つ、衝撃と感動の実話!

GAGA★

目を覆いたくなるような惨劇とテロに屈しない人々が起こした奇跡。
“絶対に安全だ”と言える場所がなくなった今、この映画で起こる事件はもはや他人事ではない。

❖ 赤ペン瀧川 (映画コメンテーター)

実話を基にした優秀な映画の共通点は、ただの再現ドラマになっていないこと。
本作も悲劇の中にも輝く人間愛が眩しく描かれて、監督の視線がしっかり入っている。
容赦ない描き方に魂を揺さぶられる!

❖ 有村昆 (映画コメンテーター)

テロには正義がないということが今さらながらに迫ってくる。

憎むべきテロリストも実は家族を想う少年たちだ。

❖ 安藤優子 (ニュースキャスター)

“追体験”する様な生々しさに、

垣間見えるテロリストの少年達の横顔があまりに哀しい。

これが実際に起きた、そして今も繰り返されるテロの姿だと思うと、いっそう胸が打ち震えます。

❖ 小川彩佳 (キャスター)

人間ってすごい。次々に襲ってくる無差別テロ。

暴力に負けない愛と勇気。心を掴まれた。感動するよ、きっと!

❖ 鎌田實 (医師/作家)

映画を薦める時に「これ面白いよ!」とか「観た方がいいよ!」とか、

いろいろ薦め方であると思うんですが、

『ホテル・ムンバイ』は「観なきゃ損するよ」だったり

「無理矢理時間を作ってでも観るべき作品だよ」が、

当たっていると思います。

❖ 坂上忍 (俳優)

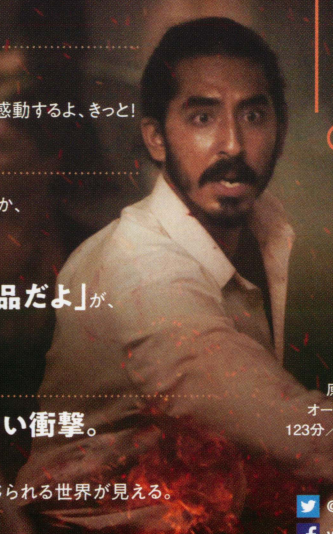
凄惨すぎるぐらいにリアルで、終盤の展開は信じられない衝撃。

なのに途方もなく感動的だった。

ぶつかり合う正義の向う側に、もう一度人間というものを信じられる世界が見える。

❖ 佐々木俊尚 (作家/ジャーナリスト)

名も無き英雄たちの 〈五つ星の勇気〉に 心が震える。



原題: HOTEL MUMBAI / 2018年
オーストラリア、アメリカ、インド合作 / 英語
123分 / カラー / シネスコ / 字幕翻訳: 中沢志乃
配給: ギャガ GAGA★
gaga.ne.jp/hotelmumbai
@gagamovie @gagamovie
www.facebook.com/gagajapan

© 2018 HOTEL MUMBAI PVT LTD, SCREEN AUSTRALIA, SOUTH AUSTRALIAN FILM CORPORATION, ABELEIDE FILM FESTIVAL, AND SCREENWEST INC

とても123分の映画とは思えない。人質と同じような時間を過ごした感覚。
永遠に終わらない地獄。全てにおいて悲し過ぎる…。

❖ 滝藤賢一 (俳優)

映画の臨場感に呑み込まれる!まるで自分がそこにいるかのように!

果たして自分はその場から逃げ出すのか、それとも今ある現実に向き合うのか…?!

決して他人事ではない。己自身の本質が試される映画だった。

❖ 竹中直人 (俳優)

ホテル業のサービス精神やホテルマンのプライドに感動。

最悪の状況で最高の思いやりにも勇気付けられる。事件を風化させない映画は貴重。

❖ デーブ・スペクター (放送プロデューサー)

テロを娯楽にしていけないかという意見もありますが、

ニュースでは実感が伝わらない事件の痛ましさはこの映画で十分わかります。

最後までハラハラしながら見ました。

❖ ピーター・パラカン (プロードキャスター)

暴力に屈してはならない。

しかし私が当事者になった時に、果たしてその信念を持ち続けられるだろうか。

この映画は突きつける。それでも、震えながら闘うのだ。今こそ連帯を。

❖ 堀潤 (ジャーナリスト/キャスター)

普通に見える若者が、容赦なく人を殺す——。

異常であるはずの光景の奥底まで覗き込むとそこに
悲劇と不条理の大きな塊が見えた。

これは、たまたまムンバイで起きただけだ。

明日、日本のどこかで起きない保証はない。

❖ 真山仁 (小説家)

(※50音順・敬称略)



9.27(FRI) ROADSHOW